

成果指標の目標達成効果率

0.8以上: 目標達成に向けて十分な成果が認められる
 0.6~0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
 0.3~0.6未満: 目標達成に向かう成果はあまり認められない
 0.3未満: 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1 男女共同参画 社会の形成のための 理解の促進	社会全体の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性11.2% 男性26.3%	女性17.0% 男性28.0%	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	女性13.3% (0.36) 男性27.2% (0.53)	
	家庭生活の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性27.6% 男性44.8%	女性37.0% 男性53.0%	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	女性33.6% (0.64) 男性50.4% (0.68)	
	社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位は平等であると思う人の割合	女性 8.1% 男性15.2%	数値目標の設定の促進に努める	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	女性11.7% (0.6) 男性15.7% (0.5)	
	職場の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性17.7% 男性20.6%	女性20.0% 男性32.0%	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	女性19.7% (0.87) 男性26.7% (0.54)	
	男女共同参画に関する職員・教員研修の参加者数		参加者数が増加する	職員 0名(0.0) (実施なし) 教員19名(0.6)	職員65名(0.7) 教員19名(0.6)	職員43名(0.5) 教員20名(0.6)	職員51名(0.6) 教員25名(0.8)	
	男女共同参画に関する職員・教員研修の研修目的の達成度		研修の目的に沿った評価をした人の割合が年々増加する	職員 0%(0.0) (実施なし) 教員95%(0.9)	職員 85% (0.8) 教員100%(1.0)	職員 84%(0.8) 教員 85%(0.8)	職員 68%(0.6) 教員 85%(0.8)	
	学校教育の場で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性63.4% 男性71.1%	女性65.0% 男性73.0%	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	女性61.0% (0.0) 男性72.5% (0.74)	

成果指標の目標達成効果率

0.8以上：目標達成に向けて十分な成果が認められる
 0.6～0.8未満：目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
 0.3～0.6未満：目標達成に向かう成果はあまり認められない
 0.3未満：目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
2 可能性・個性を 発揮できる環境 整備の促進	市管理職に占める女性の割合／市職員に占める女性の割合	課長級以上 0.2	0.36	0.23 (0.19)	0.21 (0.06)	0.12(0.0)	0.10(0.0)	
	審議会等委員に占める女性の割合	25.0%	30.0%	27.0% (0.40)	27.7%(0.54)	30.6%(1.12)	28.8% (0.76)	
	女性委員ゼロの審議会等の割合	16.0%	年々減少し、ゼロに近づける	15.3% (0.04)	13.1% (0.18)	10.2%(0.36)	14.3% (0.11)	
	家族経営協定締結農家数	12戸	年々増加する	12戸(0.0)	12戸(0.0)	14戸(0.5)	14戸(0.4)	
	防犯環境が「よい」と回答した女性の割合	23.2%	調査ごとに増加する	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	33.3%	市民意識調査未実施。	
	女性の社会的チャレンジ支援の講座の実施回数	0回	1回以上実施する	0回(0.0)	2回(2.0)	1回(1.0)	1回 (1.0)	

成果指標の目標達成効果率

0.8以上: 目標達成に向けて十分な成果が認められる
 0.6~0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
 0.3~0.6未満: 目標達成に向かう成果はあまり認められない
 0.3未満: 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
3 家庭生活と社会生活の調和の促進	保育所入所待機児童数(※)	31人	0人	47人(0.0)	24人(0.23)	39人(0.0)	36人(0.0)	
	家庭生活のための時間が取れていると感じている人の割合		女性88.0% 男性80.0%	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	女性80.8% (0.7) 男性69.9% (0.6)	
	市職員の性別育児休業取得率	女性100% 男性25.0%	女性90.0% 男性55.0%	女性100%(0.0) 男性0.0% (0.0)	女性100%(0.0) 男性5.6% (0.0)	女性100%(0.0) 男性0.0% (0.0)	女性100%(0.0) 男性7.1% (0.0)	
	市職員の性別介護休暇取得状況	女性0人 男性0人	女性、男性ともに取得を希望する人が取得できる	女性0人(-) 男性0人(-)	女性0人(-) 男性0人(-)	女性0人(-) 男性0人(-)	女性0人(-) 男性0人(-)	
	均等・両立推進企業表彰、千葉県男女共同参画推進事業所表彰の受賞企業数	0件	1件以上推薦する	0件(0.0)	0件(0.0)	0件(0.0)	0件(0.0)	
	家事諸項目(食事・掃除洗濯)の担当が「夫婦とも同じ程度」と回答した人の割合	女性3.9% 男性9.4%	女性4.0% 男性10.0%	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	女性4.3%(4.0) 男性8.7%(0.0)	

※保育所とは公立及び市内認可保育園です。また、各年度の待機児童数は厚生労働省が毎年度実施する保育所入所待機児童数調査(厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課調べ)に基づく数値です。なお、本指標については年度当初の数値が示されるものであることから、各年度の待機児童数については、翌年度の4月1日現在のものとしています。

成果指標の目標達成効果率

0.8以上: 目標達成に向けて十分な成果が認められる
 0.6~0.8未満: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
 0.3~0.6未満: 目標達成に向かう成果はあまり認められない
 0.3未満: 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
4 人権が守られる社会の形成	DVの被害経験(精神的、肉体的、性的)があると回答した女性の割合	精神的暴力7.1% 肉体的暴力3.9% 性的暴力 3.0%	調査ごとに減少する	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	精神的暴力5.0% (0.7) 肉体的暴力2.0% (0.8) 性的暴力1.2% (0.8)	
	セクシュアル・ハラスメントの被害経験(職場、学校、地域)があると回答した女性の割合	職場で: 26.4% 学校で: 4.5% 地域で: 5.1%	調査ごとに減少する	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	市民意識調査未実施。	職場で: 25.0(0.6) 学校で: 4.6%(0.4) 地域で: 4.6%(0.6)	
5 男女共同参画社会の形成に取り組む体制の強化	男女共同参画推進協議会の開催回数		複数回開催し推進計画等に関する状況を把握する	1回 (0.5)	2回 (1.0)	2回 (1.0)	4回 (1.0)	
	男女共同参画推進計画の進行状況についての公表の実施	0回	年1回公表する	/	1回公表 (1.0)	1回公表 (1.0)	1回公表 (1.0)	